



「元三フード株式会社」

『げんさん食育NPO基金』の想いをお互いに。

～寄付者と採択団体との交流のひとつ～

「お肉のげんさん」といえば滋賀のお肉屋さんとして、みなさん、お近くの店舗が浮かぶのではないのでしょうか。この「お肉のげんさん」を運営する元三フード株式会社さんは、精肉業を中心に幅広く事業を展開されているだけではなく、弊センターの「未来ファンドおうみ」にて『げんさん食育NPO基金』を設立されるなど、地域貢献はもちろん、市民活動の支援にも積極的に力を入れておられます。

この「げんさん食育NPO基金」は、元三フード株式会社創業110周年の記念として、2015年に設立され、ご寄付は、障がいのある子どもたちの健やかな成長を、食育などを通して地域とともに応援していく活動へ助成されています。

2023年度は3団体が採択され、そのうちのひとつ、『特定非営利活動法人NPO子どもネットワークセンター天気村』（以下、天気村）の子どもたちが、寄付者さんとの交流を図ろうと昨年9月末日に「げんさん牧場」を見学。今号は、その時の様子を番外編としてご紹介します。

天気村は、草津市で、子ども、大人、障がいをもつ、もたないに関係なく、自然や遊びのなかから生きいきと過ごす生活を支援する活動をされています。今回は、障がいをもつ、もたない子どもたちが一緒に竜王にある「げんさん谷口

牧場」へ。間近に見る牛の大きさや、その数に最初はびっくりした様子の子もたちでしたが、徐々に撫でたり、餌をやったり一方、牛たちはおとなしく、子どもたちを見守っているようで何とも微笑ましい光景です。ここの牛たちは愛情たっぷりに育てているので人間を信頼しており、少々近づいても大丈夫とのこと。しかし、牛たちは食用です。「大切な命だから大切に育てています。だからこそ、その命を大切に戴いて欲しい。」との、谷口剛社長の言葉に「命に感謝して、戴く。」ことを、子どもたちなりに感じているようでした。

帰る際には、力いっぱい手を振る天気村の子どもたちに、ずっと笑顔で見送る谷口社長。ひと時でしたが直接会うことで、お互いの顔が見え、託す、託される「想い」を共有することは、とても大切で大事なことだと事務局も実感した貴重な一日でした。



最初は大きな牛に戸惑っていた子どもたち、だんだん仲良しに!

- 代表/谷口 剛 ●創業/明治35年
- 本社所在地/滋賀県大津市堅田一丁目1-15
- ホームページ/<https://www.gensan-f.co.jp/>